

※2 月に予定されていた SSH 台湾海外研修は中止となりました。

台湾華語学習 & 異文化理解交流会

12 月 20 日 (月) の放課後、仙台一高 SSH 台湾海外研修参加予定者 24 名が台湾の新北市にある輔仁大学日本語文学系在籍の 3 名の大学院生の方と交流を持ちました。前半は台湾の紹介と台湾華語の学習会、後半は 3 つのブレイクアウトルームに分かれて、台湾文化・日本文化をテーマに討論会を行いました。



台湾と台湾華語

中華民国。通称台湾。フォルモサ(Formosa)という別称もあり、「美しい、麗しい」という意味。アジア大陸の南東に位置していて、北回帰線が島の中を通り抜けている。新北市から仙台までの距離は 2,342km。



台湾華語は中国語がベースになっていて、台湾人と中国人のコミュニケーションにはほとんど問題がない。歴史的な理由による民族の多様性で、台湾華語の他にも台湾人口の 74.5% を話者とする「台湾語」があり、さらに「客家語」や「原住民族語」なども用いられている。(大学院生の方作成のテキストより)

台湾華語のレッスンでは、まず自己紹介の仕方を練習し、その後、旅行で使える表現を学びました。

台湾で実際に使われているのは中国語で、台湾華語は方言のようになっていると知り驚いた。また、台湾が日本の九州ほどの大きさしかなく、人口密度が世界 2 位ということも新たに知ることができた。(C. S.)

台湾華語は文字をみただけで、なんとなく意味を想像することができたが、発音はやはり難しかった。基本的な文法は SVO の形で英語に似ていると思い、勉強はしやすいと感じた。(K. S.)

「彼」「彼女」の発音の仕方は一緒でも、漢字が違うことに少し驚いた。ハンドアウトに書いてあるアルファベットやカタカナとは違う音に聞こえる単語が多くて、発音を真似するのが難しかった。音声を聞いて復習したいと思った。(M. H.)



なるほど台湾華語教室—自己紹介

	台湾華語	発音	日本語訳	日本語読み
1	你好	nǐ hǎo	こんにちは	ニー ハオ
2	早安	zǎo ān	おはよう	ザオ アン
3	晚上好	wǎn shàng hǎo	こんばんは	ワン シャーン ハオ
4	晚安	wǎn ān	おやすみ	ワン アン
5	自我介绍	zì wǒ jiè shào	自己紹介	ズー ウォージェ シャオ
6	名字	míng zì	名前	ミンズー
7	來自…	lái zì	出身	ライズー
8	我	wǒ	私	ウォ



台湾文化・日本文化

【グループ1】

- 台湾は温かい気候区分に属しているため（北：亜熱帯，南：熱帯），この時期でも20℃近くあって，日本人にとっては過ごしやすい暖かな気温だと思うが，台湾人にとっては寒く，ダウンを着て過ごしているようだ。（M.C.）
- 倪さんから牛タンが美味しくて好きだと聞き，日本食にも興味を持ってくれていることが嬉しかった。スポーツについては，台湾では野球が盛んだと言っていた。日本で流行っている「台湾〇〇」は本当に台湾のものなのかという質問には，タピオカは本物だが，「台湾ラーメン」は見たことがないというお話だった。台湾には日本食のお店がたくさんあり，吉野家などは結構人気だそうだ。（R.K.）
- 台湾の人は基本的に「你好 nǐ hǎo」のような拼音（ピンイン）は用いず，ボポモフォと呼ばれる注音符號を用いているようだった。また，高尾や台中でも地下鉄ができるなど，経済発展が著しい。

【グループ2】

- 台湾は現在気温が20℃もあり，雪を見たことがないので，仙台に来てどれほど寒いのか体感したいとおっしゃっていた。日本にいらした時には大阪と京都へ行って，たこ焼きや天ぷらなど日本食をたくさん食べたが，日本の餃子だけは，甘すぎて口に合わなかったというお話をされていた。（F.N.）
- 台湾は日本に近く，日本に統治されていた過去もあり，日本の文化が広く知れ渡っていることがわかった。日本に統治されていたことから，日本にあまりいいイメージを持っていないのではないかと思っていたが，コロナのワクチンを寄付したことを感謝されたので，現在どのような関係性であるかの方が重要なのだと感じた。（M.I.）
- 台湾の大学院生の方々の日本語のレベルが非常に高いと感じた。過さんは日本の声優に興味があり，サブカルチャー関連で働きたいと思い，日本語を勉強し始めたそうだ。初めはやはり難しく，高校3年生の時に大阪でホームステイをしたが，ホストファミリーの言っていることが全く理解できず，悔しくて，そこから必死に勉強して今ようになったそうだ。（N.Y.）

【グループ3】

- 夜市では日本でいうB級グルメが食べられ，小籠包やタピオカが人気らしい。ただ，衛生管理がされていないところもあるらしく，お腹が弱い人は気を付けて食べてほしいとのこと。夜市では普段，仕事帰りの人が夕食を買ったりするそうだ。（M.C.）
- 日本のことはみんな好きで，特にアニメの影響が大きく，子供はよくその話題をするらしい。子供がよく見るから，海外でもアニメの人気は絶えないのかと感じた。日本の小説がアニメや映画になることが多く，それがきっかけで台湾でも日本の俳優が知られるそうだ。嵐やKing and Princeも知っているらしい。（K.K.）
- 台湾では古典文学を学ばないそうで，日本人が古典や漢文を学ぶことが本当にすごいことであると言われ，とても面白いと思った。源氏物語は台湾語でも出版されているそうだ。見てみたい。（M.S.）
- 台湾華語は日本語と違い，助詞がなく，同じ読みでもアクセントを変えると意味が変わる。台湾華語の語順はSVOだが，日本語はSOVなのが難しいそうだ。台湾の女子高生の遊びは今はTikTok，昔はガチャガチャが人気。台湾は比較的日本に近いから風潮や考え方が似ていると思っていたが，実際に話してみて，意外と流行や思考が異なっていると知ることができた。（K.K.）

